

令和6年1月25日

まちづくり委員会資料

五反田川放水路の取組状況について

建設緑政局

1 事業概要

- 目的：五反田川が合流する二ヶ領本川の沿川は、市街化された地域で家屋が立ち並んでいる状況であることから、河道拡幅による河川改修が困難であります。そのため、五反田川の洪水全量を地下トンネルに流入させ、直接多摩川へ放流することにより分流部下流域の洪水被害を軽減するものです。
- 効果：五反田川放水路の完成により、分流部下流域（一級河川五反田川や二ヶ領本川など）の治水安全度の向上が図られます。
- 事業期間：平成4年度～令和5年度
- 事業費：約300億円
※都市基盤河川改修事業として国、県、市で1/3ずつ負担
- 施設内容：延長 2,157m（分流部・トンネル部・放流部）

【位置図】

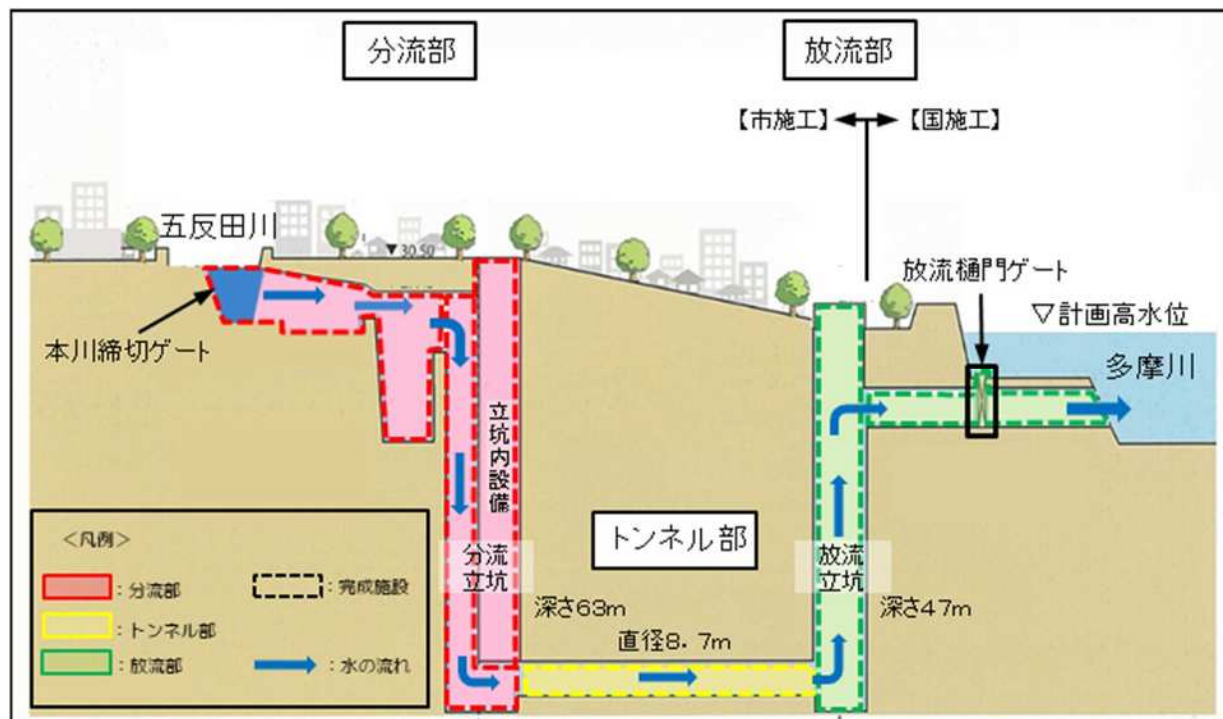


【事業経過】

- 平成4年度 事業着手
- 平成12年度 分流部立坑躯体完成
- 平成20年度 用地、区分地上権取得完了
- 平成24年度 放流部立坑完成
- 平成26年度 トンネル部完成
- 令和2年度 樋門・堤外水路工事完成
〈暫定運用開始〉
- 令和4年度 分流部・放流部管理棟完成
- 令和5年度 分流部・放流部設備完成予定
五反田川放水路運用開始予定

- ※暫定運用による洪水流入実績 3回
- ・令和2年6月6日（流入量：1,100m³）
 - ・令和5年6月2～3日（流入量：計2,900m³）
 - ・令和5年8月1日（流入量：若干量）

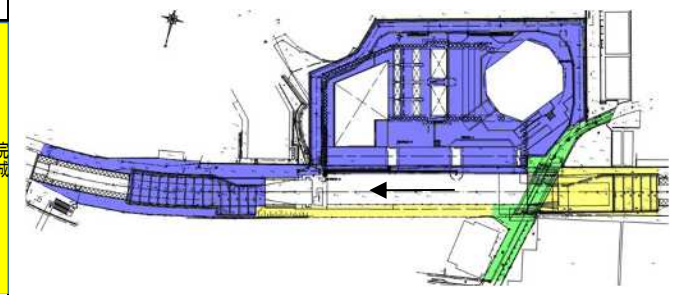
【縦断面図】



2 工事の進捗と今後のスケジュール

放流部	施設整備その3工事	外構等	令和5年度			令和6年度		
			10	11	12	1	2	3
放流部	施設整備その2工事	機械設備	工事					
放流部	施設整備その3工事	電気設備	総合試運転					
分流部	施設整備その2工事	外構 下流部護岸等	工事					
	施設整備その4工事	橋梁等	工事					
	(仮)施設整備その5工事	上流部護岸等				手続	工事	

【分流部平面図】



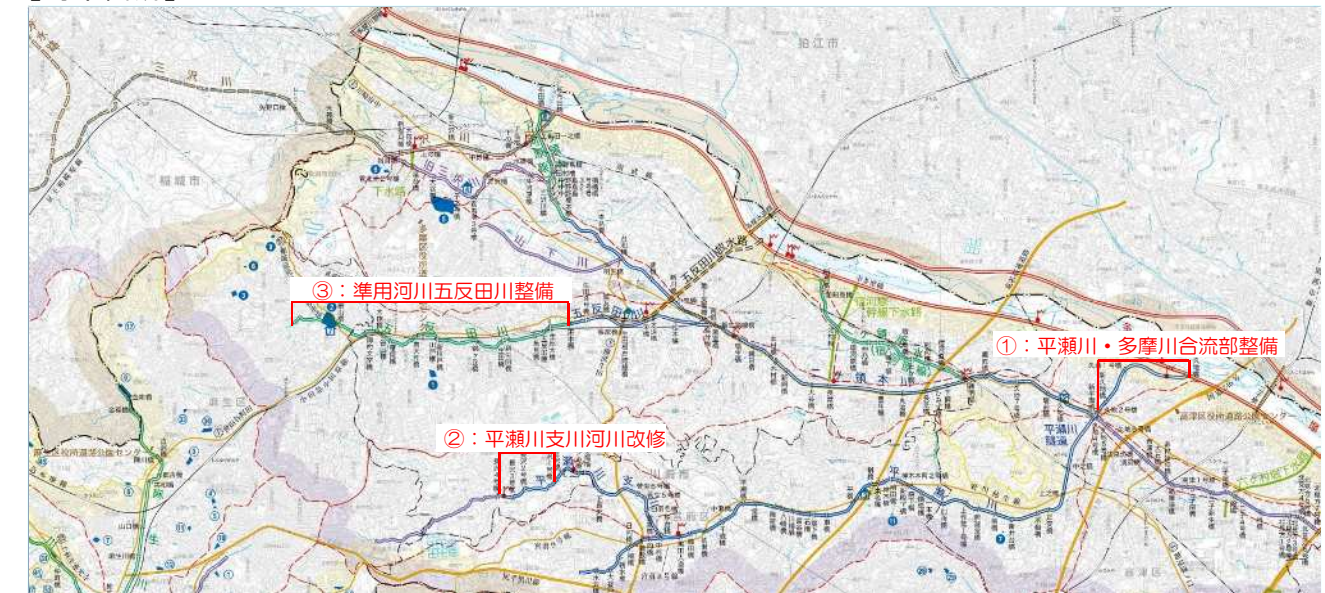
※令和5年度末に五反田川放水路の運用に必要な設備工事が完了することから、令和6年3月31日より本格的な運用を開始します。

※分流部の一部付帯施設（橋梁復旧、外構、上流部・下流部護岸）については、議会の承認を受け、引き続き施工を行い、令和6年度末までの整備完了を目指します。

3 五反田川放水路の整備効果を最大限に活用した取組

- 本市の河川は、全国的な整備水準である時間雨量50ミリ（3年に1回程度）の降雨に対応できる河川改修を進めており、令和5年4月1日現在での河川整備率は約81%となっております。五反田川放水路の運用開始に伴い、分流部下流域の治水安全度が向上し、河川整備率が約90%となります。
- さらに、放水路施設を活用した流域治水等の広報を行うことで、住民の防災意識の向上を図ります。
- 今後は五反田川放水路の整備効果を最大限に活用して更なる対策を講じることで、水害から市民の生命や財産を守ってまいります。

【対策箇所】

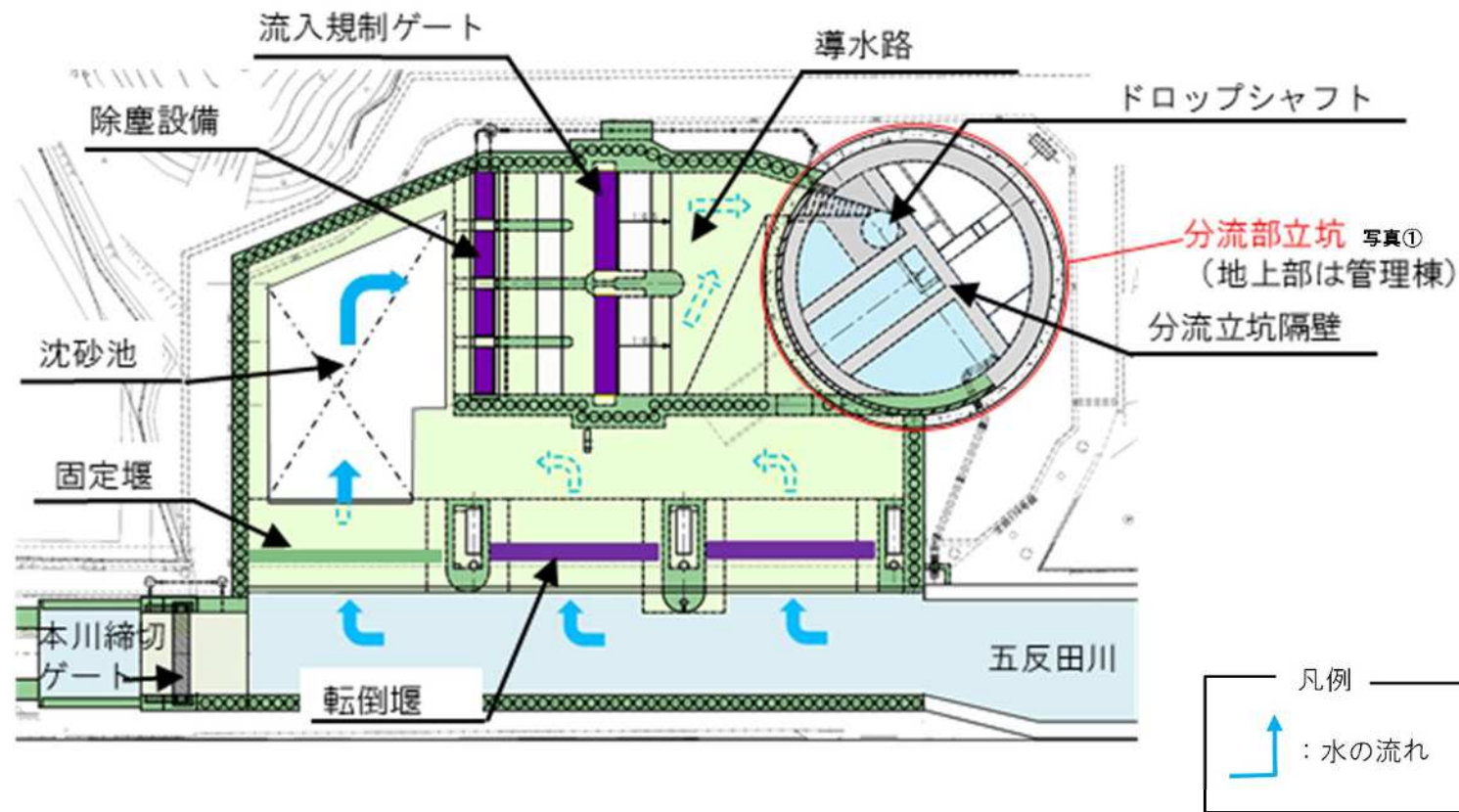


4 完成式典の開催

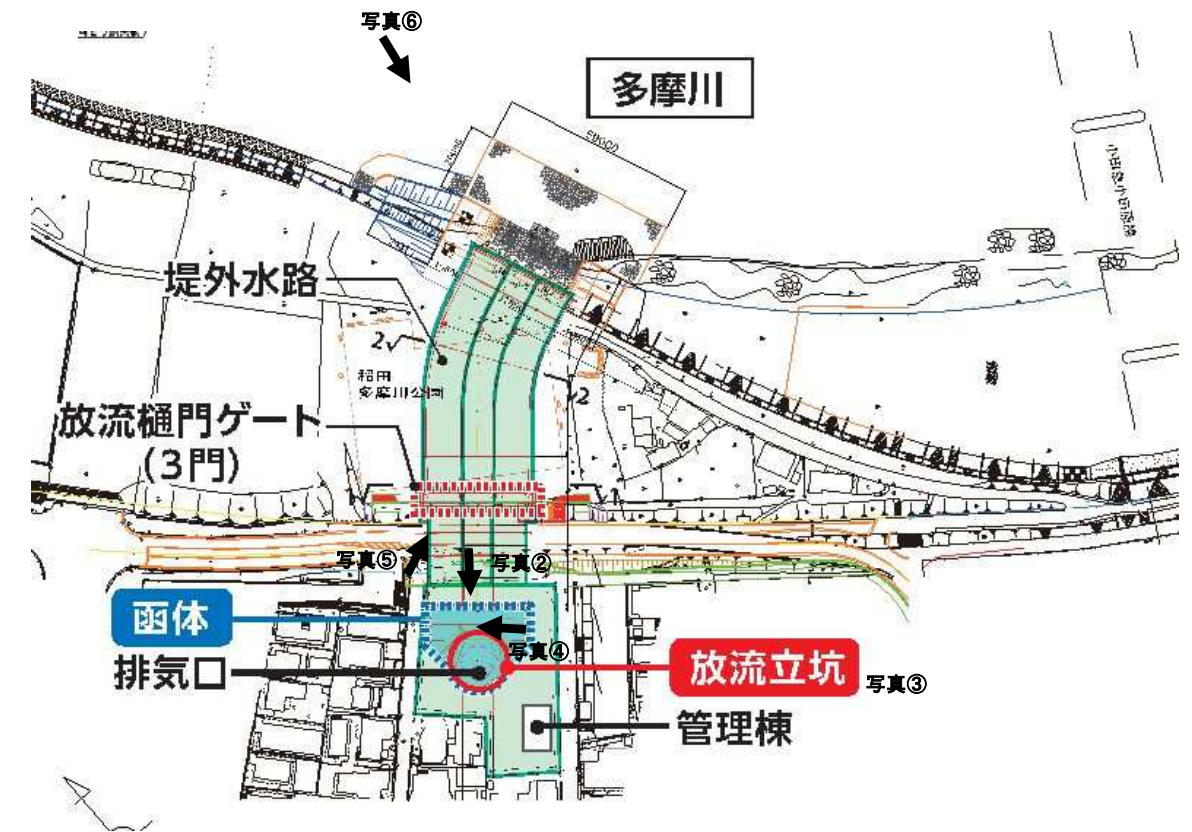
放水路の運用開始に伴い、事業協力への感謝や水防災意識の向上のため、完成式典を開催予定。

- 開催時期：令和6年4月下旬（予定）
- 開催場所：五反田川放水路放流樋門付近（稲田多摩川公園敷地内）

分流部平面図



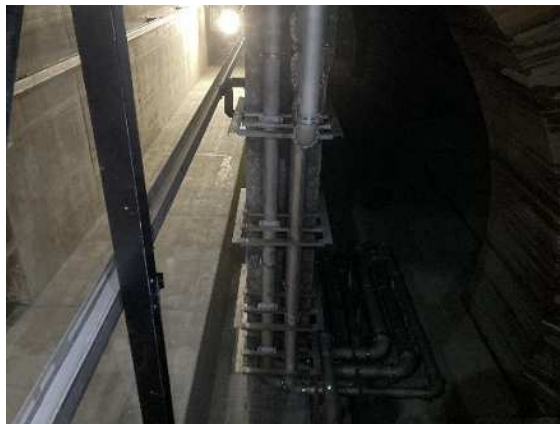
放流部平面図



現場状況

分流部

写真①: 分流立坑(下)



トンネル部



放流部

写真②: 放流部管理棟、函体



写真③: 放流立坑



写真④: 函体内部



写真⑤: 放流樋門ゲート



写真⑥: 堤外水路全景

